

ぜん ぎょう じ
善巧寺報

5 月号



月刊●善巧寺報

〒344-0032 埼玉県春日部市備後東4丁目1番17号
TEL 048(734)7660
榎本明覚



本寺専修寺 如来堂

しんらん散歩

～ 専修寺 ～

▼二〇一八年五月一日▲

定例法座

毎月
十一日

◎五月十一日(金)午後二時

〳四時

於 善巧寺 庫裡客殿

「お慈悲の力はぬくいでああ」

浄土真宗のみ教えは、「私がどのよ
うな状況・状態であれ、一切の障りな
く極楽浄土に往生させ必ず真の安穩
を与える、即ち仏と成す」という南無
阿弥陀仏の意味をお聞かせあずかる
というたった一つのことです。後生の
ことが決定いたしますと、人によって
その程度は違いますが、安堵の思いが
生じる事でしょう。ちようどお風呂に
浸かると暖かくホツとするのと似て
いると言われます。因幡の妙好人源
左お同行は、「とにかく お慈悲の力は
ぬくいでああ」と味わわれたのです。
ご法話茶話会終了後、永代経法要に
向けて仏具おみがきと境内整備を行
います。よろしくお願いいたします。

みほとけ会月例会

◎五月二十四日(木)午後一時〳

三時

於 豪徳寺 馱改札南隣ビル三階・ロージナ
ホール(二階に牛井「すき家」が入ってい
るビルです。)

会費 五〇〇円

『大乘仏教の歴史』

今回は、天親菩薩『浄土論』の続き
です。阿弥陀如来の浄土が説かれてい
る『仏説無量寿経』の本願文には、「至
心」「信樂」「欲生」の三心が説かれて
あります。経文の通りに読めば「心を
致す」真心こめる」「信じ樂(この)む」
「阿弥陀仏の浄土に生まれようと欲
す」という三種類の心を起こしたものを
浄土に迎え入れる、という風に読む
ことができるでしょう。ところが、天
親菩薩は『浄土論』において三種の心
を起こしてとは述べられず「一心」と
宣べられています。三種の心を「一つ
心」とされたその意図を味わいます。

◆◆春日部だより◆◆

◎新緑が眩しい季節になりました。お
隣の田んぼも水を張る準備が行われ
ています。お水が入ったら毎夜蛙の大
合唱でしょうね。

◎十一日の定例法座は、仏具おみがき
のため本堂が使えませんので、庫裡客
殿にて行います。境内整備も行いま
すので、お手伝いいただける方は作業し
やすい服装でお越しください。



4月8日はお釈迦さまのお誕生日。善巧寺では4月11日に誕生仏に甘茶をかけてお参りしました。



平成三十年 總永代經法要

清々しい季節になりました。亡き方々のご恩と遺徳を偲びつつ、仏さまのお心を共々に聴聞させていただきましよう。

〰 期 日 〰

五月二十日(日)

〰 日 程 〰

十一時 法要 (於 本堂)

『仏説阿弥陀經』

引き続きご法話

枋木北組龍念寺

青木 長生 師

十二時半 お齋(昼食)

(於 法輪会館)

一時半 第二部

歌ってみよう仏教讃歌 (於 本堂)

終了後、茶話会 (於 庫裡客殿)



◎年に二度ある大法要の一つ、總永代經法要は五月二十日(日)勤修です。万障繰り合わせお誘いあわせの上、お参り下さい。◎準備の都合上、同封のハガキに出欠の有無と参拜人数を記入頂き、五月十四日(月)までにご投函下さい。

◎ご講師は、しだれ桜が有名な枋木県大田市龍念寺の青木長生ご住職です。大ベテランの布教使さまです。先代住職の話などもお聞かせいただけられるかもしれません！◎第二部は、仏教讃歌を歌いましょう。伴奏は水永その子さんです。

